

## バルコニーと外部下り壁の下端の高さを揃える方法

文書管理番号：1222-01

### Q. 質問

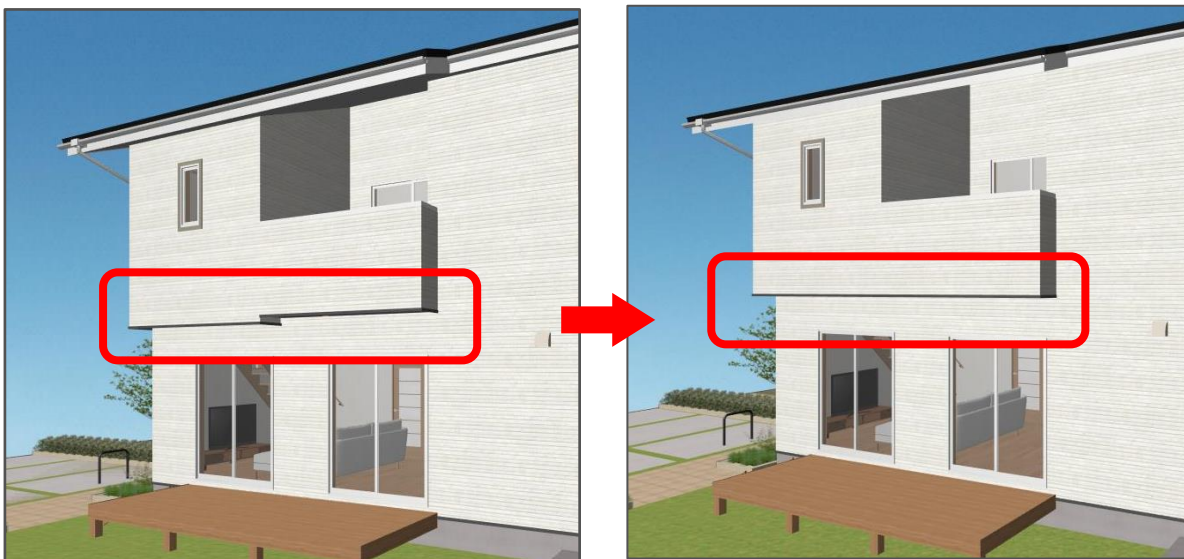
バルコニー下端とオーバーハング部分の下端を揃えたい。

### A. 回答

バルコニー下端とオーバーハング部分の下端を揃えるには、下階でオーバーハング部分に外部下り壁を配置して、高さを調整します。


高さを調整する際は、バルコニースラブ厚や外部下り壁の高さを確認し、設定します。

ここでは、以下のようなバルコニーとオーバーハング部分について、下端を揃える方法を説明します。

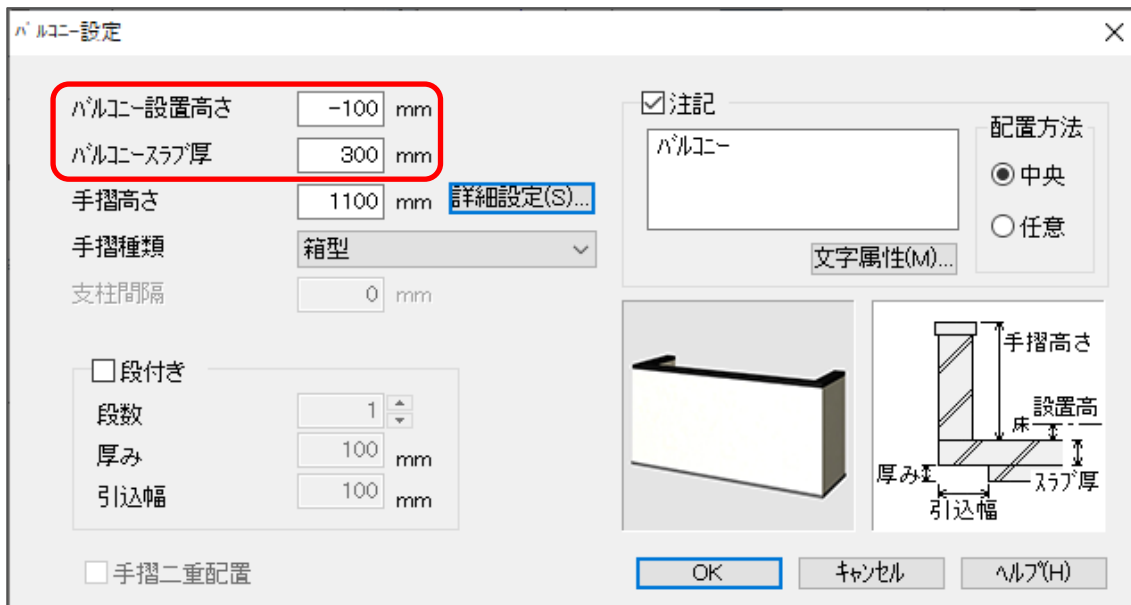


## 操作手順


- バルコニー設定の確認

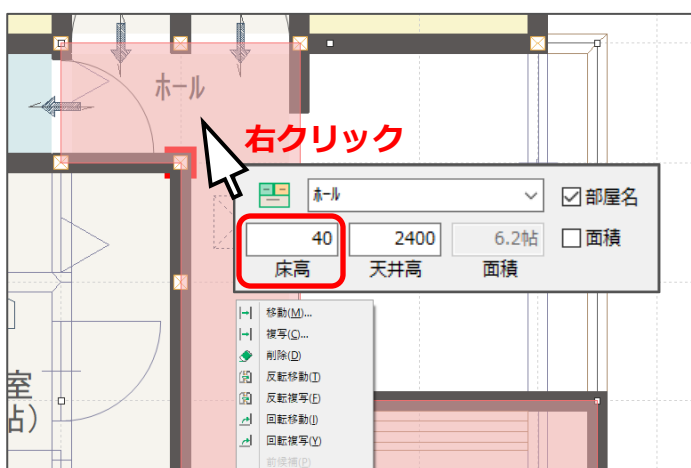
配置済みのバルコニーを  (要素選択) でクリック後、右クリックメニューの「バルコニー設定」をクリックすると、バルコニー設定の画面が表示されます。

ここで配置されているバルコニーの設定は以下のとおりです。



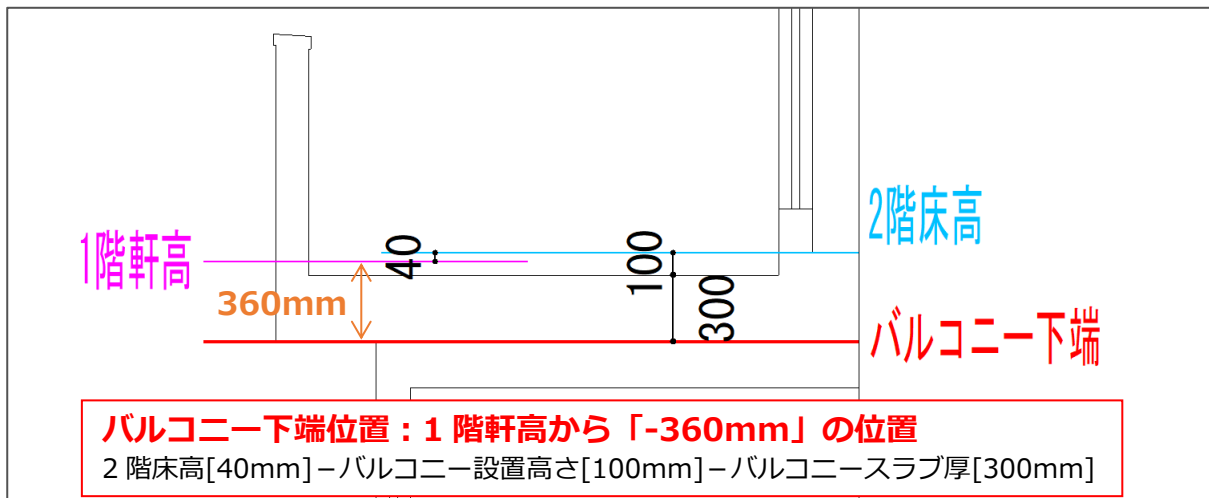
バルコニー設置高さの基準は、バルコニーを配置する部屋の床となっています。

各部屋の床高は、  (要素選択) で区画内をクリック後、右クリックのスマートメニューで確認できます。



ここでは、ホールの床（床高 40mm）を基準とし、ホールの床から 100mm 下がった位置が、バルコニー設置高さとなります。




バルコニー設置高さから下方向に、バルコニースラブ厚で設定した厚みのスラブが配置されます。



上図より、バルコニーの下端位置は、1階軒高から 360mm 下がった位置となります。

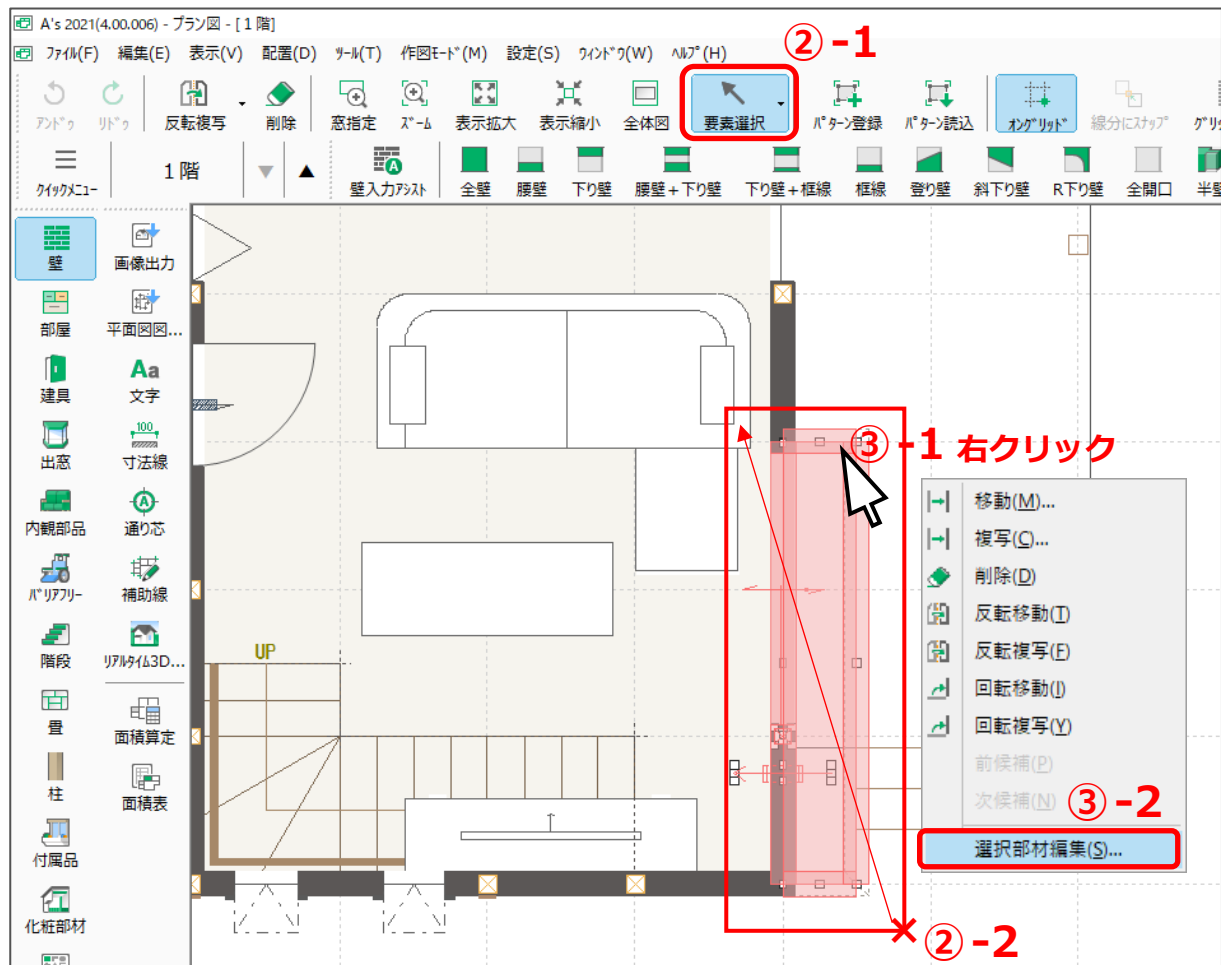
- 外部下り壁の配置

バルコニー下端とオーバーハング部分の下端の高さを揃えるには、下階でオーバーハング部分に外部下り壁を配置し、外部下り壁の高さを調整します。

- ① 1階で  (壁)の  (外部下り壁)をクリックし、オーバーハング部分に配置
  - \* 壁の入力方法については、A's (エース) マニュアルおよびヘルプをご覧ください。
- ②  (要素選択)をクリックし、建物の外側から外部下り壁付近をドラッグして範囲選択
  - \* ドラッグで選択した範囲内にある部材が、赤く選択されます。

③ 右クリックメニューの「選択部材編集」をクリック

\* 選択部材編集の画面が表示されます。



④ 左側に表示される部材から、「壁」をクリック

\* 右側の対象部材に、外部下り壁が3つ表示されます。

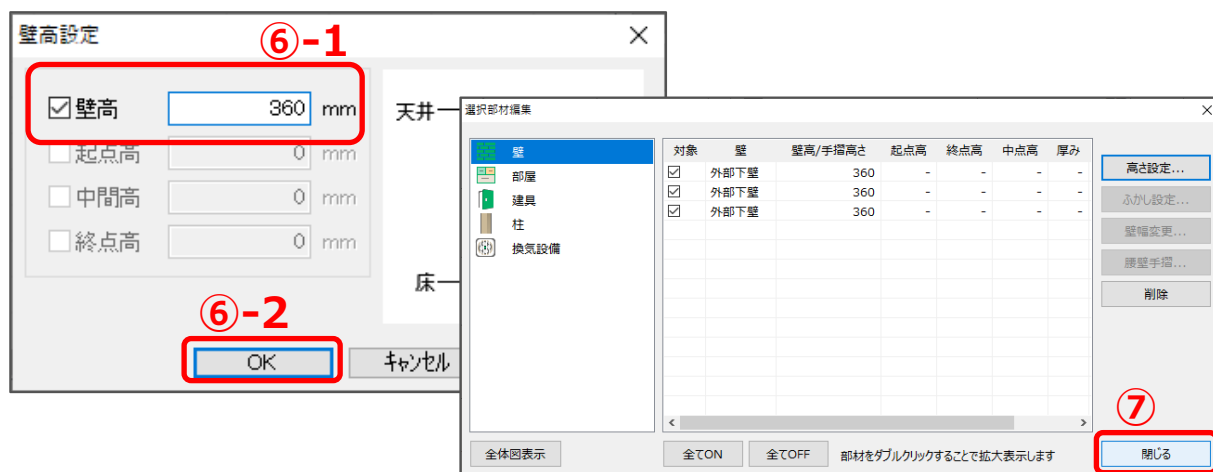
⑤ 「全て ON」をクリックし、「高さ設定」をクリック



\* 壁高設定の画面が表示されます。

⑥ 「壁高」にチェックを入れ、高さを入力し、「OK」をクリック

\* 外部下り壁の壁高は軒高が基準となっているため、ここでは、P.3の計算結果より、壁高を「360」mmと入力します。



⑦ 「閉じる」をクリック

\* 選択部材編集の画面が閉じ、3つの外部下り壁の壁高が360mmになります。

⑧ (3D パース)で確認

\* バルコニー下端と外部下り壁の下端の高さが揃ったことを確認します。



**【参考】** 外部下り壁をバルコニー下に配置する場合


オーバーハング部分だけでなく、バルコニー下にも下階で外部下り壁を配置すると、バルコニーの下端高を計算しなくても、オーバーハング部分とバルコニーの下端を揃えることができます。バルコニー下端よりもオーバーハング部分の下端が低い場合にご利用いただくと便利です。ただし、外部下り壁の下端をバルコニー下端よりも高く設定することはできません。そのような場合は、バルコニーのスラブ厚や設置高を調整してください。

## 参考①：オーバーハングの天井面

外部下り壁で囲まれた範囲は、天井面が生成されないため、上階の床面が見えてしまいます。

外部下り壁で囲まれた範囲に、オーバーハングの部屋名を配置し、天井高を設定すると、設定した高さ  
に天井面が生成されます。

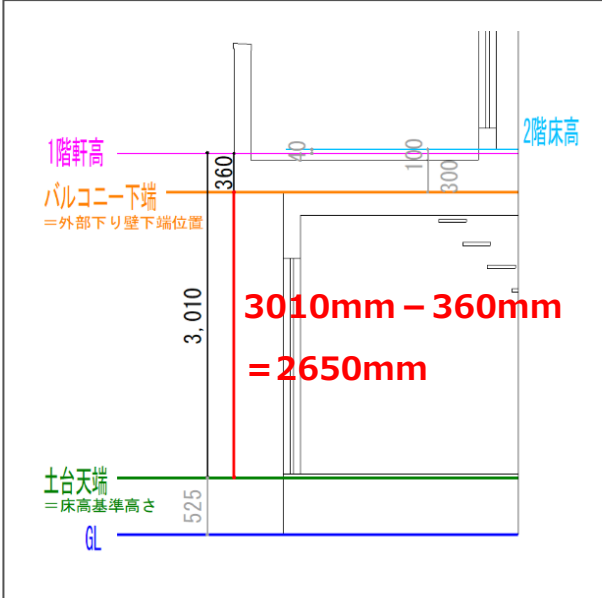
オーバーハングの天井面をバルコニー下端と同じ位置に配置する場合、ここでの設定は以下のようになります。



右クリック

オーバーハングの天井高：  
土台天端から「2650mm」の位置

床高[0mm]（土台天端の位置）に設定  
1階階基準高さ[3010mm]  
-1階軒高からバルコニー下端まで[360mm]



3010mm - 360mm  
= 2650mm






オーバーハングなどの外部の区画に軒天（天井面）を表現する方法については、こちらをご覧ください。

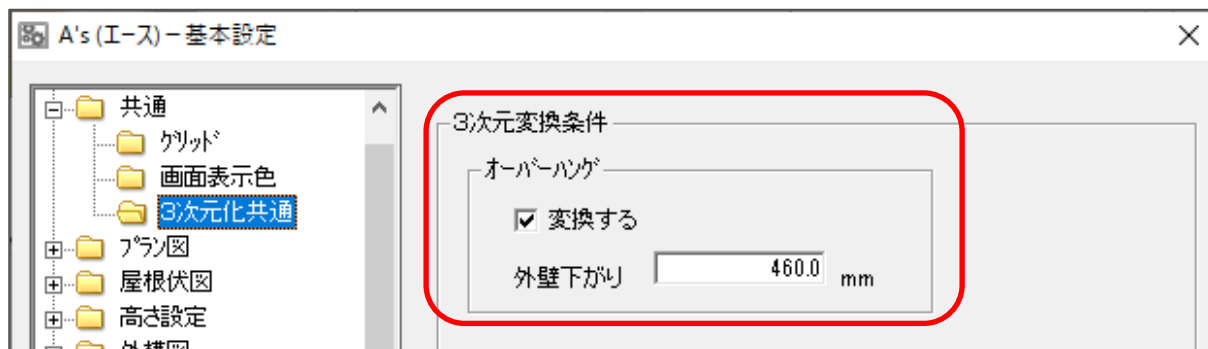
[\[1048\] 外部区画への軒天の作成方法](#)

## 参考②：基本設定ツールの「外壁下がり」での設定

A's（エース）の初期設定では、3次元変換の際に、オーバーハング部分の外壁下がりを自動生成するようになっています。

デスクトップの  (A's(エース)) をクリックし、「A's(エース)」グループ内の  (各種ツール) ⇒  (基本設定ツール) を開きます。

基本設定の「共通」⇒「3次元化共通」をクリックすると表示される「3次元変換条件」で、オーバーハング部分の外壁下がりの設定を変更できます。



3次元変換条件で、「変換する」にチェックが入っていると、設定した高さの外壁下がりが3Dパースなどでオーバーハング部分に自動生成されます。

オーバーハングの外壁下がりの初期値は460mmです。高さを変更したい場合は、数値を変更してください。

「変換する」のチェックを外すと、外壁下がりには自動生成されないため、オーバーハング部分の壁は下階軒高の位置までとなります。

この設定の変更は、作成中の物件および既存物件すべてに反映します。

### 【注意】 オーバーハングの底の表現

「変換する」にチェックが入っている場合は、3Dパースなどでオーバーハングの底面も自動生成されます。

「変換する」にチェックが入っていない場合は、3Dパースなどでオーバーハングの底面が自動生成されず、上階の床が見えてしまいます。

P.6 参考①のように、天井面を配置してください。